

平成23年度 学力向上アクションプラン

唐津市立鏡中学校

- 1 目 標 「夢の実現にむけ主体的に学び行動する生徒の育成」
～キャリア教育の推進を通して～
- 2 実践目標 (1) キャリア教育の推進を通して、生徒が将来の夢を持ち、身近な目標を設定し、学習に意欲的に取り組むようにする。
(2) 授業規律の見直しを行い、授業に臨む雰囲気作りを行う。
(3) 「わかる、楽しい」授業を目指し情報交換の場を設定し、実践する。
(4) 取組んだ内容を学校便りやHP等を通して発信する。
- 3 成果目標 (1) 基礎・基本の定着を図り、各種学習状況調査において今年度を上回るとともに、県平均並みに向上させる。
(2) 基礎学力テストにおいて全学年通過率を向上させる。
(3) 生徒に落ち着いた授業態度で、意欲的に取り組ませる。
(4) 家庭学習の充実が図られるよう、一層家庭との連携を深める。
- 4 現状と数値目標
- 1年生(現状) 県学習状況調査は正答率が全教科で県を下回った。
地区基礎学力テストは国・数ともに正答率80%を上回った。
(目標) 県学習状況調査全教科で県平均以上
地区基礎学力テストの正答率80%以上
- 2年生(現状) 県学習状況調査は正答率が国・英の2教科において県を上回った。
地区基礎学力テストは国・英が正答率75%を上回った。
(目標) 県学習状況調査全教科で県平均以上
地区基礎学力テストの正答率80%以上
- 3年生(現状) 県学習状況調査は正答率が全教科で県を下回った。しかし前年度より、国語・数学・理科・英語は向上している。
地区の基礎学力テストは3教科ともに正答率70%を下回った。
(目標) 県学習状況調査全教科で県平均以上
地区基礎学力テストの正答率80%以上

5 アクション

(1) キャリア教育の推進

自分の進路(夢)に向かって主体的に学び、行動できる生徒の育成を目指す。その方策として3部会での取組みを通して学校・家庭・地域社会と連携・協力しながらキャリア教育を推進していく。

- ・「総合部会」…… 総合的な学習の時間を通して、勤労観・職業観を育成する。
マナー検定の検討実施、各種講演会の実施、あいさつ・電話の対応の仕方、手紙の書き方、職場体験学習、進路学習など
- ・「ボランティア部会」… ボランティア活動を充実させることで、地域社会の一員としての自覚をもたせ、将来社会に貢献できる生徒の育成を目指す。また、地域の人材を講師として活用する。
小学校への学習ボランティア、花壇の手入れ・花の寄せ植えと事業所への寄贈、松葉かきなど
- ・「学活・道徳部会」… 社会人としての基礎的な資質、能力であるマナーを向上させる。
マナーについての題材を用いた学活・道徳の授業の実践、Q-Uテストの分析・活用、集団面接の実施など

(2) 授業規律の改善

学習効果をより向上させるために、姿勢教育(立腰)を行い、授業に臨む雰囲気をよりよいものにしていく。また授業規律の定着の面からも小中連携を推進し、小学校段階から継続した取組みを行い、共通したものを作り上げていく。

(3) 授業改善

生徒に対して授業アンケートを各教科ごとに行い、その結果を元に「わかる授業」・「楽しい授業」を目指し、授業改善を進めていく。

(4) 基礎学力テスト

学習意欲を向上させるため、以下の要領でクラスマッチ形式を導入する。
・教科別に80点以上の者が80%以上の通過率を達成したクラスは表彰する。
・教科別に80点以上の通過率が一番高いクラスには、賞状とトロフィーを授与する。

(5) 家庭との連携

- ・家庭学習が充実するように家庭学習の手引きを作成し、各家庭に配布する。
- ・学校公開を促進し授業参観を自由に行えるようにする。
- ・学校たよりやHP等を通して学校の取組みの様子を伝える。